

公共施設情報だより

令和 7 年 11 月発行
高山市総務部行政経営課
第 3 号

本号では、文化芸術施設について解説していきます。令和 7 年 4 月 1 日時点では 4 施設あります。

●各施設ごとの施設のあり方や整備等の方針については下表のとおりです。

大分類：（１）社会教育系施設 小分類：③文化芸術施設

施設名	施設のあり方		施設の整備等	
	方針	時期	方針	時期
高山市民文化会館	廃止	中期（後半）	解体	中期（後半）
丹生川文化ホール	継続	—	更新等	—
国府文化ホール				
高山市文化伝承館	譲渡	長期	—	—
（仮称）高山駅西地区複合・多機能施設	新規	中期（後半）	新設	中期（前半）

短期：R2～R6（2020～2024）、中期（前半）：R7～R11（2025～2029）、中期（後半）：R12～R16（2030～2034）、長期：R17～R31（2035～2049）

●文化芸術施設の管理・運営に関する基本的な方針は下記のとおりです。

基本的な方針
<民間活力導入の実施方針> ・近隣を含め商業施設の併設等民間のノウハウを活用して利用度・利便性が高まる手法を検討する ・PPP/PFI など民間活力の導入を検討する <統廃合、複合化・多機能化の実施方針> ・新たな施設整備時を含め、文化芸術機能に留まらず、官民間問わず、様々な施設や機能との複合化・多機能化について検討する ・利用度の低い施設にあっては、多機能化等について検討する

*PPP…公共サービスの提供を行政と民間が連携して行うことで、効率化やサービス向上を目指す手法

*PFI…公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力等を活用して行う手法

文化芸術施設の将来負担経費(単位:百万円)

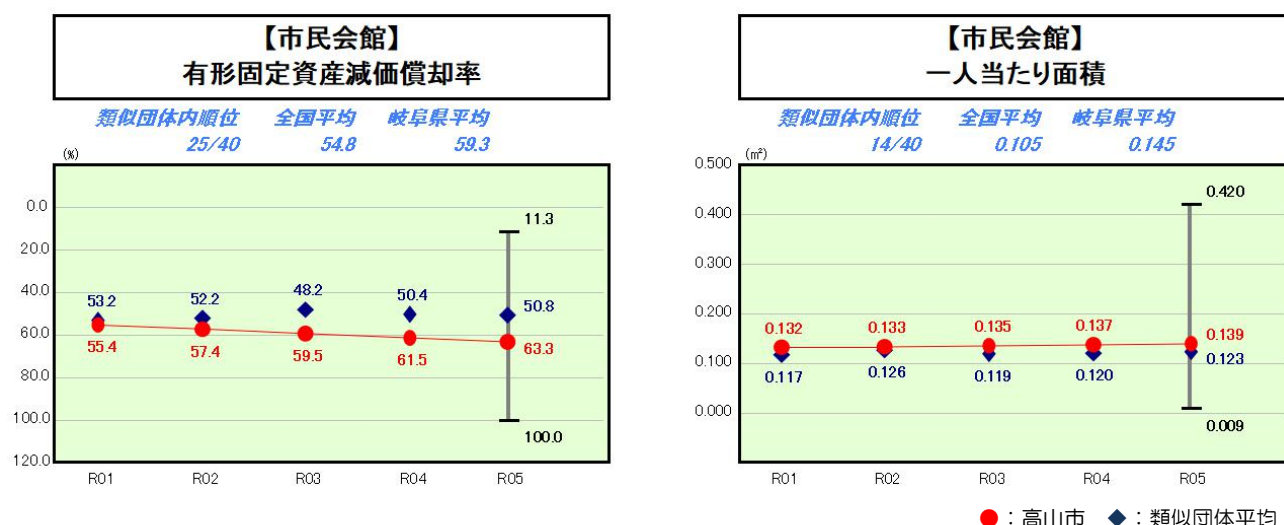


現状のまま更新等を続けた場合、30 年間で 116.8 億円かかる見込みですが、上記方針に基づく取り組み（新規施設の整備含む）により、230.4 億円（+113.6 億円、+97.3%）となる予定です。

(単位: 百万円)

	短期	中期	長期	計
現状	870	7,758	3,051	11,679
取組後	654	19,248	3,141	23,043
増減	△216	+11,490	+90	+11,364

●財政状況資料集(施設類型別ストック情報分析表)からみる市民会館の現状



令和5年度財政状況資料集（施設類型別ストック情報分析表）をみると、市が保有する市民会館の減価償却率は63.3%（全国平均比+8.5%）となっており、他市と比べ施設の老朽化が進んでいることが分かります。

また、市民会館の一人当たり面積は0.139㎡（全国平均比+32.4%）となっており、全国平均と比較すると一人当たり面積が約1.3倍多いということが分かります。

●施設の複合化・多機能化

複合化・多機能化とは、機能が異なる複数の施設や機能を同じ建物内にまとめることを言います。複合化・多機能化をすることにより、維持管理コストの縮減や人員の効率化、施設稼働率の向上を図れるほか、複数のサービスを1ヵ所で受けられたり、にぎわい創出につながるなどの効果が期待されます。

（仮称）高山駅西地区複合・多機能施設は、既存の市民文化会館・公民館、総合福祉センター（子育て支援機能等）、勤労青少年ホーム・女性青少年会館の機能の他、新たな機能を複合化・多機能化します。

